

普及現地情報

発信年月日:令和6年(2024年)8月22日
所属名:東近江農産普及課東部
番号:D24008
発信者名:小嶋、平田



指導農業士会県外視察研修会を開催！

指導農業士会東近江支部の県外視察研修会を7月3、4日に開催し、石川県と富山県の先進的農業者等を視察しました。支部からは7名が出席され、水田地域における複合経営の取組や大規模な園芸品目の産地形成等の事例を学び、今後の経営の糧とすることができました。

まず、石川県の有限会社安井ファームを訪問しました。安井ファームは水田地域でいち早く複合経営に着目し、水稻・大豆に加え、ブロッコリーを約90ha栽培されています。社員自らがやりたいことを発案できる制度や、社員を自立させるために「社長が我慢する」考え方を聞き、経営や従業員雇用に対する考えを醸成することができました。

次に、富山県のJAとなみ野玉ねぎ集出荷貯蔵施設を訪問しました。砺波地域では平成21年から水田転換品目として玉ねぎの作付けが始まり、R6年度は約150haを作付されています。大規模な施設を見学しながら、産地形成の経緯や現状、近年の課題等を聞き、新品目導入のうまみとともに、取組継続の難しさを感じるすることができました。

最後に、富山県の有限会社梅香園を訪問しました。ここでは主に六次産業化の取組についての話を聞き、販売戦略をしっかりと立て、付加価値をつけることの重要性を学びました。

当課では、指導農業士会の方々が担い手の育成と地域農業のさらなる活性化に取り組んでいただけるよう支援していきます。



安井ファーム(石川県白山市)



JAとなみ野(富山県砺波市)